

防犯設備士としての活躍につながるもの

公益社団法人 日本防犯設備協会 総合防犯設備士委員会 副委員長
総合防犯設備士資格番号 第 09-0273 号
キング通信工業株式会社

道家 正宏



【総合防犯設備士取得のきっかけ】

弊社は全国の警備会社様、ビルメンテナンス会社様を中心に機械警備システム機器の開発・製造・販売を行っているメーカーです。弊社では、お客様と接する機会のある営業・技術サービス部門の場合、基本的に防犯設備士の資格を取得しています。私自身、入社後は営業職に配属となったため1995年に防犯設備士資格を取得しました。

総合防犯設備士の資格を取得したのは2010年です。公益社団法人日本防犯設備協会の総合防犯設備士委員会に関わることになったのがきっかけで、本音を言えば「立場上やむを得ず」受験したのですが、いままでの防犯関連機器に対する基本的な仕組みや防犯の考え方の習得とは異なり、システム全体の審査・監査方法や論理的な考え方のスキルが求められ、大変苦労したことを覚えています。

現在は営業サポート部門に所属し内勤が中心のため、直接お客様と接する機会は少ないのですが、過去の営業職時代を振り返ると反省点や改善点が多々あります。ここではその反省点や改善点を踏まえ、総合防犯設備士としてできることをご紹介します。

【総合的提案力のスキル】

例えば、ある複合施設に対してセキュリティシステムの提案依頼を頂いた際、私たちはお客様である警備会社様やビルメンテナンス会社様のご要望を具体化できるようにシステム設計を行います。維持管理方法や実用性の検証などシステムを有効に活用していただくために運用開始後に必要なことも含め、トータル的なご提案が求められます。

その際、実際にご利用になるユーザー様とのディスカッションも不可欠です。総合防犯設備士として身に着けた

様々な知識やスキルをもとに論理的、かつ合理的なディスカッションを行うことでより良い提案が可能となり、お客様やユーザー様の満足度向上を図ることができます。

このように総合防犯設備士取得によって防犯システム全体を時系列に多角的に見ることが可能となります。このスキルは大きな財産となっており、今後皆様と共有できればと考えています。

【これから受験を考えている方々へ】

総合防犯設備士の資格取得は、確かに簡単なものではありません。上記の通り審査・監査方法や論理的な考え方のスキルが求められます。誰にでも得意・不得意分野があるのは当然ですが、それを克服してでも取得するに値する資格であると思っています。

現在では日本防犯設備協会主催の受験セミナーや過去の試験問題の掲載が行われており受験対策の情報が格段に多くなっています。ぜひこれらの情報を活用してチャレンジしてください。

【最後に(平成から令和へ)】

平成も終わりが近づき、5月には新しく令和の時代が始まります。期せずして本コーナーにおける平成最後の寄稿となりました。令和の時代になっても人々の安全・安心に対する気持ちに変わりはありません。むしろ今後ますますニーズは高まっていくことになると思います。

私たち総合防犯設備士は地域社会の、延いては国全体の安心・安全のため、防犯設備のプロフェッショナルとして社会に貢献していかなければなりません。そのためには、機械的な知識の向上はもちろん、社会情勢、犯罪情勢などあらゆる情報に目を向ける必要があります。私も微力ながら日々研鑽に努め社会の安心・安全に貢献したいと思っています。